

消火ホース・消火栓の取り扱い

桜ヶ丘の消火設備について、

- ・ 地下式消火栓の開け方
- ・ ホース格納箱内容物の取り扱い
- ・ ホースをつなぎ、消火栓を開閉

など知らないことがいっぱいです。

桜ヶ丘には、ホース格納箱（消火栓器具箱）が 18 ヶ所設置されています、うち 2 ヶ所が「移動式」（下記写真左）で 16 ヶ所が、「固定式（脚部にコンクリート）」（写真右）です。

「移動式」は、自治会館玄関前と木もれび池南側に設置されています。



移動式



固定式

格納箱には、下記の物品 1～4 が格納されています。



1. ノズル：ホースの先端につけ、火に向け放水する
2. タンドパイプ：地下式消火栓に取り付け、上端にホースをつなぐ
3. ホース：20m のホースが 3 本あり、必要に応じてつないで長さを調整する
4. 消火栓ハンドル：地下式消火栓のバルブを回し、水を出す

「移動式」は、底にキャスターがついていて、ゴロゴロと引きずって、消火栓まで運びます。

「固定式」は、中身だけ出して、消火栓まで運びます。

「消火栓」は、地下に埋められています。蓋は、次の2種類があり、蓋または周囲を黄色く塗装して他のマンホールと識別しています。外を歩く時に足元を見てください。



「移動式消火栓器具箱」の動画は、<https://www.youtube.com/watch?v=B8qi8o3ejQ8> です。

「固定式ホース格納箱」は
https://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/open_imgs/service/0000001710.pdf
です。動画ではありませんが、写真付きで解説されています。

南海トラフ大地震は、今後 **30年間に70~80%**の確率で起こると予測されています。(文科省)
その時、滋賀県は、**震度6**と予測されています。(滋賀県HP)

大震災発生時に、火災が発生しても、湖南消防は桜ヶ丘には、**来ません!**

桜ヶ丘に設置された18個のホース格納箱で、私達自身で町を守らねばなりません。
あなたの家族を守れるのは、あなたしかいないかも知れません。

お願いします! 上記の動画や解説を見て、少しでも知識を持ってください。



防災防犯委員会